

松山市炬火イベント参加報告 ～えひめ国体・えひめ大会直前イベント～

えひめ国体・えひめ大会を前に、8月27日日曜日、松山市堀の内城山公園で開催直前イベントが行われました。イベントの一つとして「まつやまの火をみんなの手で」を合言葉に、松山市炬火イベントが催され、松山地区ボーイスカウト71人（BS30、VS11、RS4、指導者26）は、マイギリによる火おこしの奉仕をしました。

【事前風景】



13:30 マイギリ奉仕者集合



火おこしブース全景、晴天の下で！



机一脚に2台のマイギリ、合計54台

【火おこし（採火）】



15:00 野志市長の火おこしをスタートに！



“そうそううまいぞ～”



“ウ～ン、ロープがうまく・・”



指導する側も受ける側も真剣そのもの



とにかく、火種が気になります！



“ボクやったよ”と誇らしく！



ガールスカウトも挑戦



ビーバー・カブスカウトも挑戦、“先輩手助けよろしくネ”



【微かな火種は・・】



マイギリの微かな火種をもぐさに移し、竹の容器のカンナくずに潜らせ、息をゆっくり吹きかけると・・炎があがる。

【集火場所にて】



炎の立あがったカンナくずは、次々焚火台に移され、火は途絶えることなく燃え続ける。

【まつやまの火／キャンドルアート】



焚火台に火を移した参加者は、小さなガラス容器に灯されたキャンドルを受けたり、キャンドルアート台に上がって所定の場所に置いていく。

キャンドルで描かれたのは？

【まつやまの火リレー】



2つのトーチは、第1走者から第7走者までリレーされ、式典ステージに運ばれる。

ボーイスカウト及びガールスカウト代表2名がトーチに火を受け、第1走者へ



【まつやまの火集火式典】



最終のリレー代表から野志市長のトーチにまつやまの火が移され、メインキャンドルに灯される（18:20）



整列してセレモニーを見守るボーイスカウト、ガールスカウト

【受賞おめでとう！】



この日、「まつやまの火命名表彰」が行われ、松山16団カブスカウト 渡部巧一朗君に、野志市長より最優秀賞が授与されました。おめでとうございます。

“おもてなし 笑顔広がる
松山の火”

【イベント奉仕を終えて】



18:30 奉仕後、竹田地区委員長ねぎらいの言葉